

弱かったのは、 個人でなく、支える力でした。

毎日、100人近くもの人が自殺によって亡くなっています。
「弱かっただけ」「逃げただけ」。社会が向ける眼差しは、いまだに冷たく一方的です。
遺族は、その眼差しを受けて、声を上げられませんでした。

しかし、亡くなる人たちは、決して特別な人たちではありません。
過労や失業、いじめや介護疲れといった社会的な要因が、生活やこころの問題へと
連鎖して、自殺へと追い詰めるのです。
最後まで「ごめんなさい」といいながら、亡くなっていくのです。

自殺は、個人の問題であり、私たちすべてが関わる社会問題です。
そして自殺は、社会的対策によって「避けることのできる死」なのです。

私たちは、行政やNPO、医療や法律の専門家など様々な立場の人たちの
「つながり」を育み、誰も自殺へ追い詰められることのない、
「生き心地の良い社会」の実現を目指します。
小さな力がつながり、いつか社会を変える力になる。
そう心から信じながら。

